

西公民館

開催日：7月27日 **参加者数：**約130人 **意見・提言数：**10件
主な意見：そうじゃ吉備路マラソン、空き家、介護保険、防災、道路の改修など

6月25日に「新総社大橋」が開通。「そうじゃ吉備路マラソンに新総社大橋を通るコースを入れてはどうか」との提案がありました。市長は、「高梁川以西を走らせるのは夢。将来的に検討したい」との考えを示しました。また、「空き家対策をしてほしい」との要望に、「市内には空き家が914軒ある。著しく危険度が高いものは撤去し、外部から住んでもらえそうなものは空き家バンクをつくりたい。地元の方にもご協力をいただければ」と答弁しました。



山手公民館

開催日：8月4日 **参加者数：**約100人 **意見・提言数：**8件
主な意見：自由枠交付金制度、環境問題、高齢者福祉、河川の改修など

市内全地域でスタートした「自由枠交付金制度」。各地域が実情に応じた使い方をしています。山手地域では、山手小学校と新潟県十日町市の小学校の児童が交流する事業に活用。「がんばっている山手をもう少し支援してほしい」との要望がありました。市には優れた市民活動に補助金を交付する制度「市民提案型事業」があることを紹介。「議会と協議してその枠を拡大し、新しいアイデアや良いアイデアに予算をつけていきたい」と答えました。



東公民館

開催日：8月9日 **参加者数：**約110人 **意見・提言数：**15件
主な意見：市庁舎の耐震化、都市公園、文化財、財産管理など

南海トラフ巨大地震の発生が懸念されるなか、「市庁舎が倒壊に近い状態になったときに、たちどころに対応できる機能はあるのか。早急に耐震化するか建て替えたほうがよいのでは」との意見がありました。市長は、「いずれかの場所で総社市を守りぬく自信をもっている。市庁舎は金額的に比較し、耐震補強をするよりは建て替えたほうがよいと判断した。9年後をめどに進めていきたい」と考えを説明しました。



昭和公民館

開催日：8月10日 **参加者数：**約110人 **意見・提言数：**8件
主な意見：市道の災害復旧・改修、教育施設、選挙など



6月22日から24日にかけて降った雨の影響で、昭和地域では落石や道路が崩壊する被害が発生。現在も2か所が通行止めとなっています。「災害で通行止めになっている市道を1日も早く直してほしい」との要望がありました。市では、7月臨時市議会で、災害復旧にかかる補正予算を計上。建設部長は、「ご不便をお掛けし、申し訳ありません。全面通行止めになっているところは優先的に進めていきたい」と答えました。

総合福祉センター

開催日：8月12日 **参加者数：**約200人 **意見・提言数：**12件
主な意見：土地利用、障がい者福祉、高梁川河川敷・道路の整備など



今年3月に策定した「都市計画マスタープラン」で、拠点地域と設定された県立大学周辺地域。「県立大学周辺はお店が少ない。今後できるのか」との質問がありました。市長は、「基本的には田んぼに家や工場、商店舗は建てられない。この土地の活用形態を変えるところから進めて行かなければならない。県大前に新しい学園都市をつくり、さまざまなものを複合的に兼ね備えた新たな東の玄関口をこれからつくっていききたい」と展望を述べました。

清音公民館

開催日：7月15日 **参加者数：**約120人 **意見・提言数：**11件
主な意見：ふるさと納税、部長マニフェスト、教育施設の整備など



市が力を入れて取り組んでいる「ふるさと納税」。寄付者に贈るお礼の品について、「総社市は食品産業が充実しているの、農産物だけでなく食品とセットにするなど創意工夫して、税収アップを図ってはどうか」との提案がありました。市長は、「今年度から市内の事業者の商品を新たに加え、約90品程度に増やしている。幅広く市民と市内の事業者に利益があるウィンウィンの関係をつくっていききたい」と説明しました。

池田分館

開催日：7月21日 **参加者数：**約120人 **意見・提言数：**7件
主な意見：高齢者・障がい者福祉、体育・英語特区、防災、待機児童など

「全国屈指の福祉文化先駆都市」を掲げた第2次総合計画がスタート。介護保険制度の改正によりサービスの低下が心配されるなか「地域で地域の高齢者を支え、孤独死のない地域にするため、見守り隊などで行政の協力をいただきたい」との要望がありました。市長は、「要支援に該当しないが一人での生活がままならない人がいる。その人にどう寄り添っていきけるかを真剣に考え、予算投入をしていく。まずは要支援台帳を作り実行に移していく」と答えました。



市民と議論しまちをこくする

ガラス張り公開市長室を開催



池田分館でのガラス張り公開市長室。市民の意見を直接聴き、それに答える市長

7月15日から8月12日まで、市内7会場で開催したガラス張り公開市長室。参加していただいた延べ約890人の皆さん、ありがとうございました。道路整備や教育施設、まちづくり支援など、さまざまな課題を熱心に議論しました。いただいたご意見やご提言は71件。これらはできるものから実行し、より良い総社にしていきたく考えます。

今回のガラス張り公開市長室では、幹部職員が市政の概要を説明。人口が増え、財政状況も健全化している現状や、障がい者千人雇用、雪舟くん、地・食・ふるさと納税などの事業の実績値を報告しました。また、熊本地震の被災者支援や生涯現役のまちづくり、土地利用の方針など、市の大きな話題を紹介しました。これらや、地域の課題を基に意見交換を行い、意見には市長や幹部職員が答えました。会場に話の内容を文字

で伝える要約筆記を配置。聴覚に障がいのある人にも参加していただきました。意見交換で最も多かったのは分野別に見ると、道路整備の11件。このほか、教育施設が9件、防災、施設・財産管理、高齢者・障がい者福祉、農林業がそれぞれ4件となっています。ガラス張り公開市長室でいただいた意見・提言などは、市ホームページで概要を公開しています。

問い合わせ 秘書室 (☎8215)